

令和6年度

文化庁活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都渋谷区

自治体名：東京都渋谷区

担当課名：学びとスポーツ課

電話番号：03-3463-3296

基本情報	
面積	15.11 km ²
人口 (令和6年10月1日時点)	231,751人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数 (令和6年5月1日時点)	2,003人
部活動数 (令和6年5月1日時点)	57部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	渋谷区スポーツ推進計画(第二期)策定済 令和7年度渋谷区部活動地域移行推進計画策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1 生徒のニーズを踏まえた運動部・文化部の設置

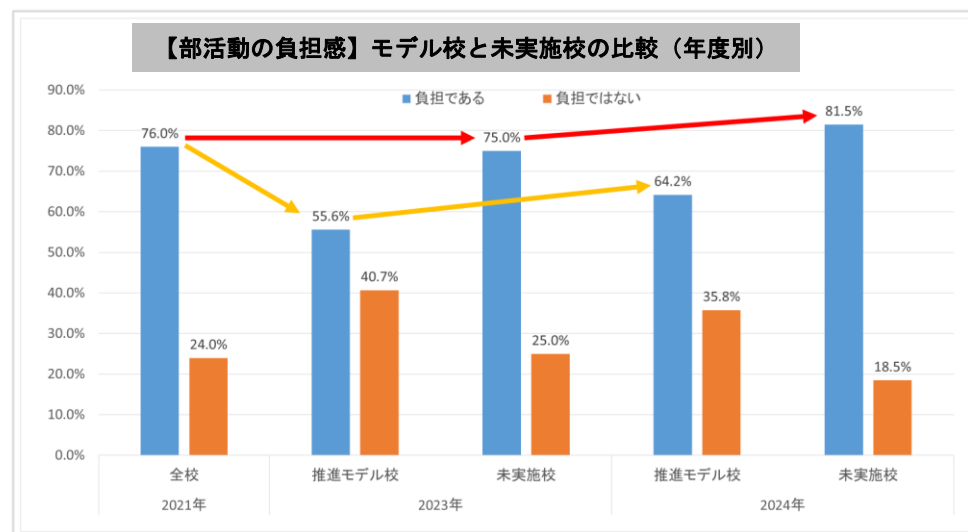
学校によって設置されている部活動の種目が限定され、生徒が希望する種目が必ずしも整っていない。例えばサッカー部は、8校の区立中学校の内3校のみにしかなく、すべての学校でサッカーを行うことはできない。また、文化部への希望や、障がいのある生徒等幅広く、変化する生徒のニーズには応えきれていない。

👉 **生徒のニーズに沿った部活動を設置するとともに、部活動の合同化を推進する。**

2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

部活動は長年、教員の献身的な取組によって支えられており、長時間勤務の要因、指導経験がない教員の負担など大きな課題となっている。

👉 **教員の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組む。**



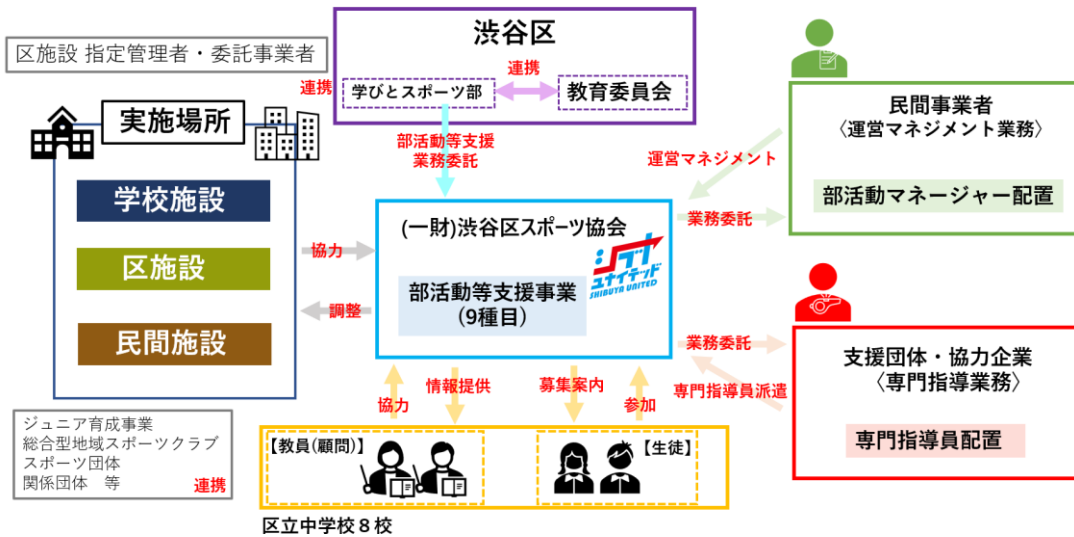
令和6年度区立中学校教員を対象とした意識調査

回答者数 2021年108人、2023年105人、2024年107人

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

- ◎教育委員会（教育指導課）
 - ・学校現場調整
- ◎首長部局（学びとスポーツ課）
 - ・地域クラブ運営支援（一般財団法人渋谷区スポーツ協会へ業務委託）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	前期募集開始 （見学・体験会）
令和6年5月	活動開始 保護者説明会/コアプログラム
令和6年7月	ポッチャ部大会出場
令和6年8月	ダンス部大会出場 サッカー部大会出場
令和6年9月	後期募集開始 （見学・体験会）
令和6年11月	ダンス部大会出場 将棋部大会出場
令和7年1月	ダンス部発表
令和7年2月	新学期活動広報開始
令和7年3月	新年度会員募集 （見学・体験会）

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8校	実施した地域クラブ総数	9クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		9クラブ
全体の指導者数	38人	全体の運営スタッフ数	10人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
将棋	(公社)日本将棋連盟	将棋	週1回	16:15～17:45	1年生2人 2年生1人	令和6年4月～ 令和7年3月	駒テラス 西参道	1人	2人(1人)	年会費 10,000円	地域クラブ
料理・スイーツマスター	服部栄養専門学校	料理	月2回	13:00～17:00	小学生25人 1年生16人 2年生22人 3年生17人	令和6年4月～ 令和7年3月	服部栄養専門学校	14人	2人(1人)	年会費 32,000円	

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 見学会の実施
- 体験会の実施
- コアプログラム※の実施

※・・・最新の機器を使用したゲーム感覚でスピードやパワー等の運動能力を計測し、科学的データをもとに身体を総合的にチェックするプログラム。
スポーツ競技を実践するだけでなく、体力に寄り添う、主体性を伸ばす、けがを防止する3つのことに焦点を当てて実施。

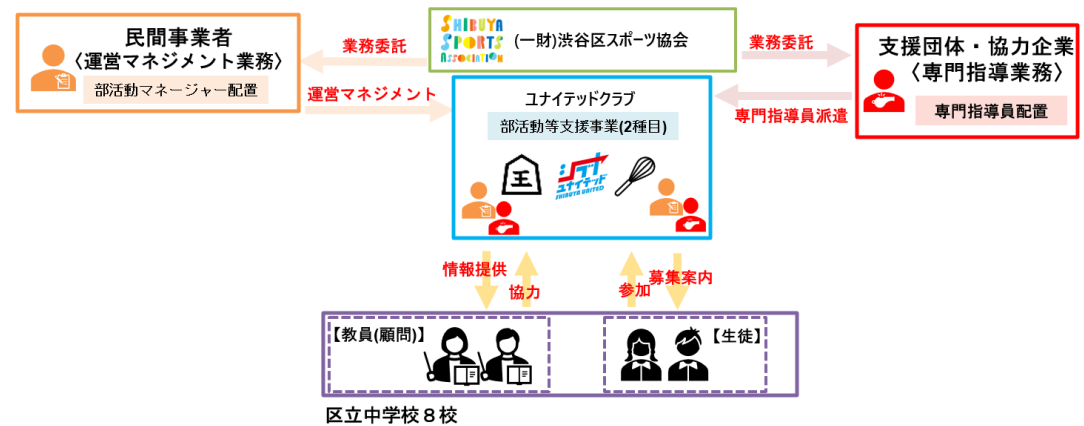
2.実証内容と成果

主な取組例

● ユナイテッドクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	①将棋 ②料理・スイーツマスター
運営団体名	一般財団法人渋谷区スポーツ協会
期間と日数	①4月10日～3月26日(週1回程度) ②4月27日～3月22日(月2回程度)
指導者の主な属性	①日本将棋連盟指導棋士 ②服部栄養専門学校講師
活動場所	①駒テラス西参道 ②服部栄養専門学校
主な移動手段	徒歩、公共交通機関
1人あたりの参加会費等(年額)	①10,000円 ②32,000円
1人あたりの保険料	団体総合補償費用制度保険 生徒1人あたり：1,000円/年 指導者1人あたり ⇒他事業を含めて一括で保険加入しており、本事業のみで切り分けることができないため掲載不可

● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- (一財) 渋谷区スポーツ協会
役割：地域クラブ活動の全体の運営業務を行う
- 部活動マネージャー
役割：生徒管理等の運営マネジメント業務を行う
- 専門指導員
役割：生徒に対して技術指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

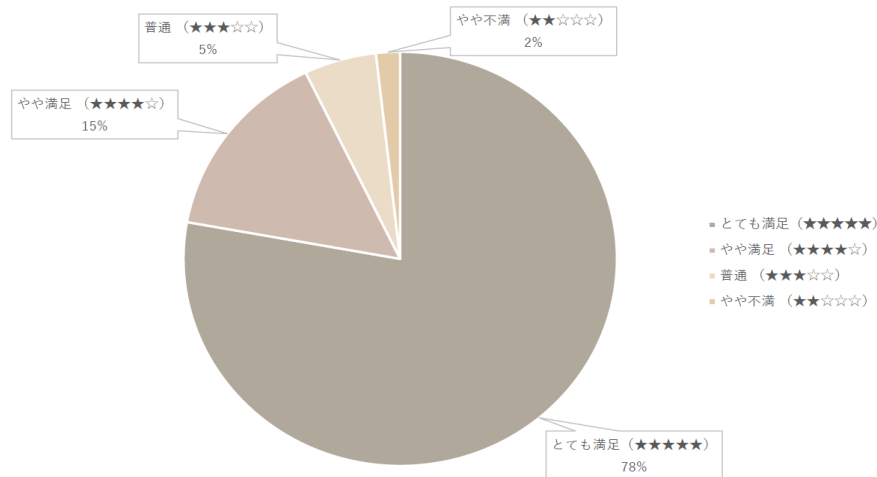
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会（旧・一般社団法人渋谷ユナイテッド）が中心となり、学校ではなかなか出来なかった、生徒自身が「やりたい」クラブを渋谷区にゆかりのある企業・団体と連携しながら、実施した。区や関係団体との定期的な打ち合わせの場を作り、情報共有を行ってきた。関係団体から、専門的な指導を受けられるようにした。

取組の成果

1. 参加しているユナイテッドクラブの満足度を教えてください。



ユナイテッドクラブに参加した生徒を対象としたアンケートの結果、回答者の93%が、ユナイテッドクラブの活動に満足していることがわかった。学校によっては希望する部活動がない、人数が少なく思うように部活動ができないという状況がある中で、ユナイテッドクラブを通して、生徒たちに充実した活動の場を提供できた。

【渋谷ユナイテッドクラブ 前期アンケート結果】 回答者数：167人

今後の課題と対応方針

- ・参加した生徒の満足度を維持できるように、引き続き関係者間でのコミュニケーションを密にしていく。また、やや不満という回答もあったため、原因を分析し、改善していく必要がある。
- ・生徒のニーズを把握し、新規クラブの創設を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会が中心となって、渋谷区にゆかりのある企業・団体から指導者派遣を依頼し、専門性の高い指導を受けられる体制を整えた。

登録者属性

日本将棋連盟指導棋士、専門学校講師

種目

文化クラブは将棋、料理・スイーツマスターの他にデジタルクリエイティブ、eスポーツを実施。

資格有無

有資格は求めているが、質の高い技術指導ができる企業や団体に依頼して、クラブの活動に適した講師を派遣していただいた。

取組の成果

将棋では、日本将棋連盟から指導棋士三段の講師、料理・スイーツマスターでは、服部栄養専門学校から各回に日本料理担当・西洋料理担当・スイーツ担当の講師に指導してもらい、質の高い活動内容になっている。

■大会結果（将棋）

令和6年11月30日実施

区長杯子ども将棋大会 団体戦 優勝

講師紹介



日本将棋連盟

講師：藤田一樹（ふじた かずき）

講師紹介

服部栄養専門学校



日本料理担当 西澤 辰男（にしざわ たつお）
 日本料理担当 森 寛典（もり ひろたか）
 西洋料理担当 伊丸 ゆう子（いまる おか ゆうこ）
 西洋料理担当 幸田 健太郎（こうだ けんたろう）
 スイーツ担当 大西 由紀子（おおにし ゆきこ）
 スイーツ担当 川瀬 幸司（かわせ こうじ）

出典：渋谷区スポーツ協会HP

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



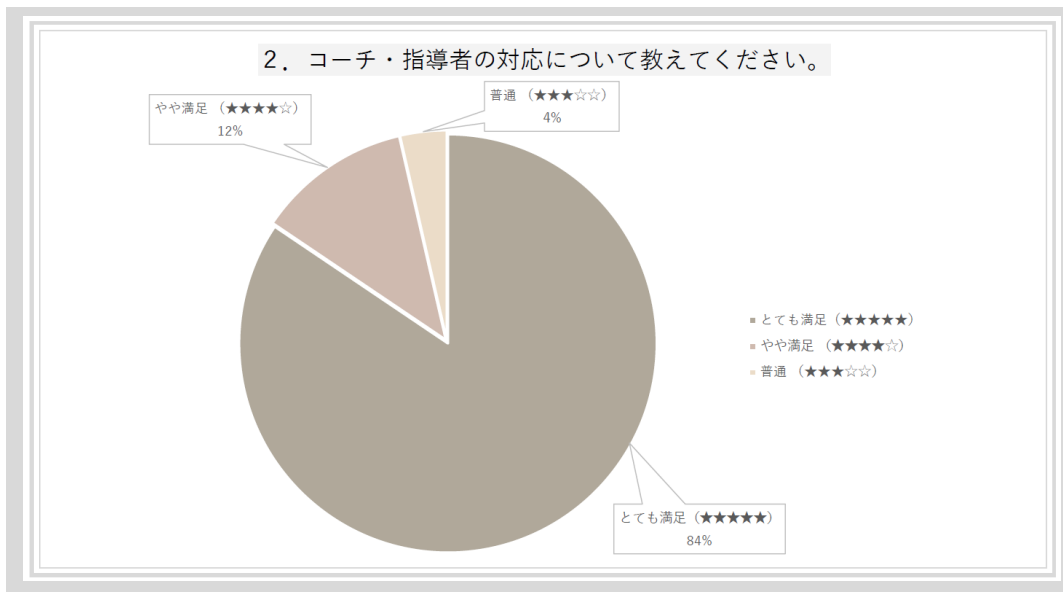
取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会（旧・一般社団法人渋谷ユナイテッド）が中心となり、本活動の指導に適した指導者の派遣をするために、関係団体と緊密に連携した。そして、区や関係団体との定期的な打ち合わせの場を作り、活動状況や課題を共有してきた。参加者募集について、区・学校現場と連携し、生徒に募集情報が行きわたるようにした。

取組の成果



ユナイテッドクラブに参加した生徒を対象としたアンケートの結果、回答者の96%が、ユナイテッドクラブの指導者に満足していることがわかった。専門的な指導に加えて、料理専門学校調理室が会場にしているなど特別な会場での実施も、満足度に貢献してしたと思われる。

【渋谷ユナイテッドクラブ 前期アンケート結果】 回答者数：167人

今後の課題と対応方針

- ・関係団体との連携を引き続き図り、指導者の質を保ち、参加した生徒の満足度を維持していく。
- ・生徒のニーズを把握し、新規クラブの創設を検討していく際も、専門的な指導者を配置できるようにしていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組の成果

■指導者（スライド7参照）

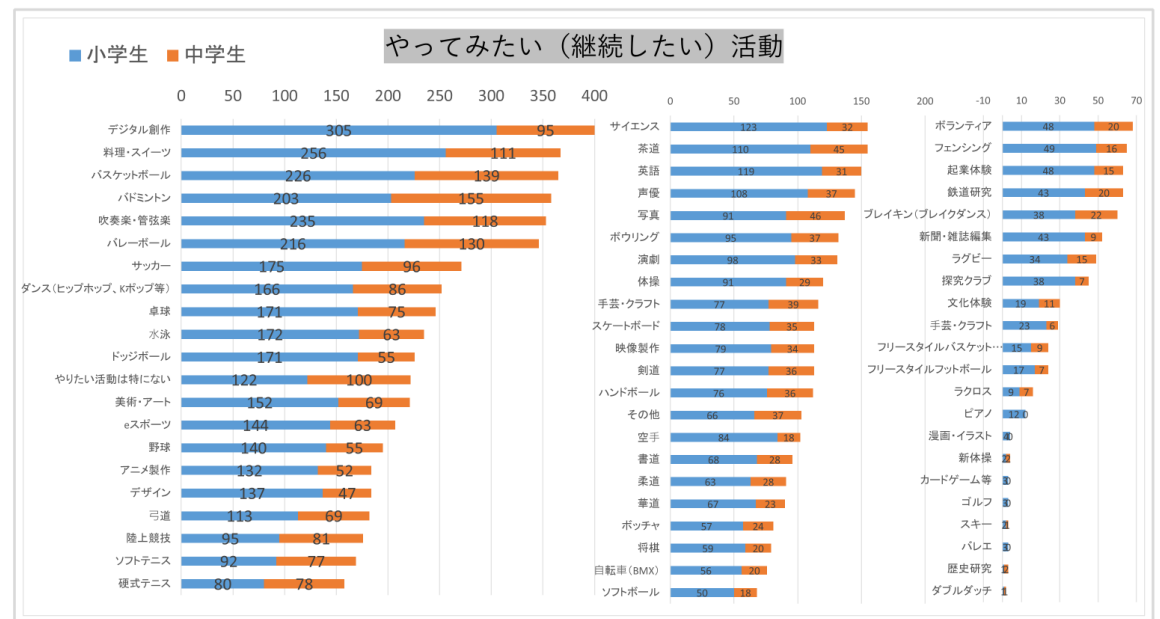
将棋では、日本将棋連盟指導棋士、料理・スイーツマスターでは、服部栄養専門学校の各ジャンルの講師というその業界のトップレベルの指導を受けることができた。

■活動場所（スライド11参照）

将棋では、公益社団法人日本将棋連盟が管理する「駒テラス西参道」、料理・スイーツマスターでは、服部栄養専門学校を提供していただき、恵まれた環境で活動ができた。

今後の課題と対応方針

子どもたちのニーズを正確にとらえ、これまでの学校部活動ではなかなかできなかった、生徒自身が「やりたい」クラブを渋谷ならでの支援事業者とともに運営する「シブヤユニテッド」を実現、継続していく。そのために継続的に子どもたちへのニーズ調査を行いつつ、クラブの運営や指導にふさわしい、渋谷区とゆかりのある企業や団体を発掘、連携していく。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組の成果

ユナイテッドクラブとして渋谷スタディクーポン※に参画し、参加費用負担を軽減し、誰でも本事業へ参加できるようにした。

※…生活保護世帯に属する渋谷区内の小学1年生から中学校3年生に対して、民間の教育機関（学習塾や文化・スポーツ教室など）で利用できる支援サービス

利用状況

- ・将棋クラブ 0件
- ・料理スイーツマスタークラブ 0件

今後の課題と対応方針

- ・ユナイテッドクラブの活動に、渋谷スタディクーポンが利用できることの周知の強化を図り、子ども達の参加機会の提供に努めるようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

関係団体との協力により、活動場所の確保を行った。

取組の成果

将棋では公益社団法人日本将棋連盟が管理する「駒テラス西参道」、料理・スイーツマスターでは学校法人服部学園が運営する服部栄養専門学校を活動場所として提供してもらった。



活動の様子

今後の課題と対応方針

活動する場所の確保について、クラブによっては難航しているので、関係団体と連携を強化し、参加する生徒が安全・安心に参加できる場の提供を行っていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・異なった学校同士の生徒との交流が生まれ、学校以外でのコミュニティの場となっている。
- ・学校にあまり登校していない生徒、学校部活動には参加していない生徒、特別支援学級の生徒も参加しており、生徒たちの活動の機会を提供できた。
- ・教育委員会事務局との連携を図り、活動日程の調整を行った（土曜授業、学校行事）。生徒が無理なく参加できる日程を設定した。
- ・学校部活動との兼部や複数のユナイテッドクラブへの参加を認めており、生徒たちが自分の興味のある活動に複数参加できるようにし、多様なニーズに対応してきている。

●成果の評価

- ・ユナイテッドクラブに参加している生徒を対象としたアンケート調査では、概ねポジティブな回答が多く見られた一方で、ネガティブな回答もあった。実施回数や内容に物足りないと感じている生徒がいる。また、平日に実施しているクラブは授業後に行っているため、負担に感じている生徒がいると分析している。生徒一人一人の声を聞き、丁寧な改善に努めていく必要がある。
- ・指導者の専門性のある質の高い指導により、参加生徒の満足度が非常に高く、実施の成果を感じている。

●今後に向けて

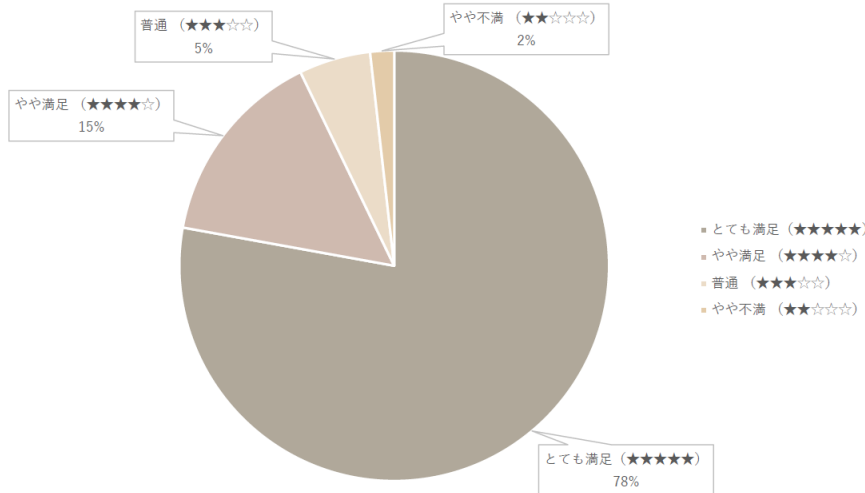
- ・受益者負担としての会費設定については、引き続き検討していく必要がある。
- ・持続可能な活動に向けて、関係団体と連携強化は必須になっていく。
- ・運動部については、地域移行を推進するモデル校運営を行っているが、文化部についても、学校部活動の現状把握を行い、今後、実施に向けての検討をしていく必要がある。

アンケート結果・参加者の声

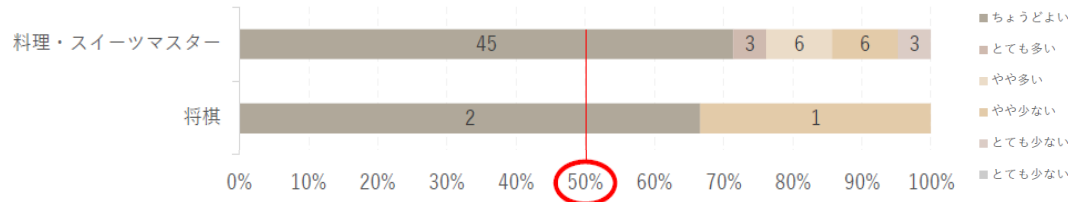
●アンケート結果

【渋谷ユナイテッドクラブ 前期アンケート結果】 回答者数：167人

参加しているクラブの満足度について



ユナイテッドクラブの実施回数について



●自由意見

●参加者の声

- ・月1～2回程度なので毎週にしてほしい。
- ・習い事が忙しく、クラブ活動にあまり力を入れられない。
- ・色々な学年がいて、話しかけ方がわからない（ため口、敬語）

●保護者の声

- ・子どもが積極的に参加をしている姿から充実度が伝わってきた。
- ・勉強やテストの成績向上も見られ、学習面での効果も実感している。新たな挑戦が自信につながっているようだ。
- ・学校外での居場所ができたことで、子どもの世界が少し広がったと感じる

前期で退会した人の声

退会理由

- ・受験のため
- ・習い事や部活動と実施時間帯が重なるため

参加者（保護者）の声

- ・家族も本人も、大変満足度の高い部活動だった。
- ・料理により関心を持ち、基礎が学べた。日常的に料理をするきっかけになった。
- ・時間をもう少し遅い時間帯での実施なら土曜授業の日も参加できそう

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【料理・スイーツマスター部の練習風景（料理）】

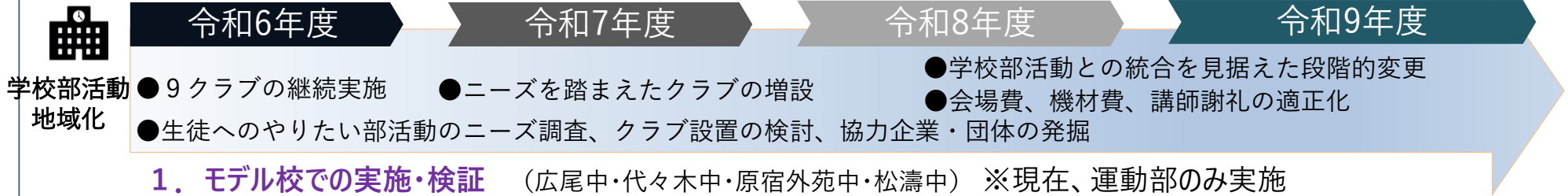


【料理・スイーツマスター部の練習風景（スイーツ）】



【将棋クラブの練習風景】

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

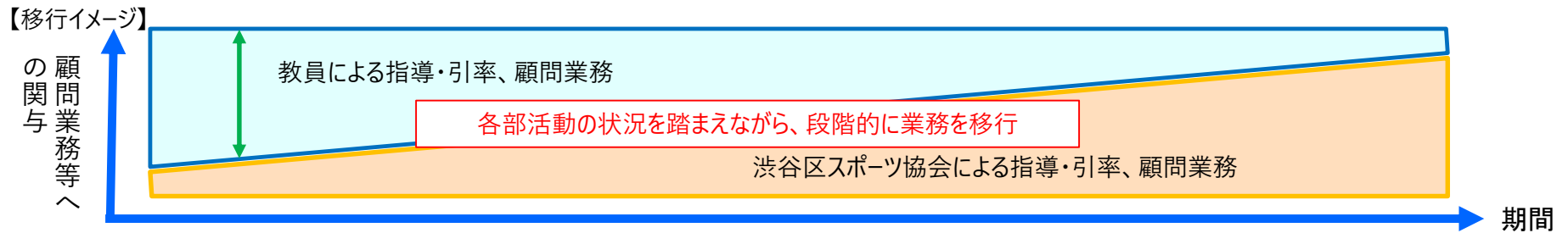


1. モデル校での実施・検証 (広尾中・代々木中・原宿外苑中・松濤中) ※現在、運動部のみ実施
 R6年度はモデル校2校を加え、区立中学校8校のうち4校で効果検証事業を実施。
 各校には渋谷区スポーツ協会がスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチ/サブコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施されるよう支援を行う。

モデル校に配置	主な業務内容
スーパーバイザー (総括責任者)	総括業務、研修会等の実施 等
クラブマネージャー	スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー 等
ユナイテッドコーチ/サブコーチ	専門技術指導及び競技大会引率、顧問業務 等

2. 地域移行を検証する上でのポイント

- (1) 生徒に混乱が生じないように、ユナイテッドコーチが大会等において監督・引率を行えるよう関係各所と調整を行う。
- (2) 質の高い指導者を確保・配置するとともに、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備する。
- (3) 行政・学校・渋谷区スポーツ協会でのコミュニケーションを緊密にし、円滑な事業運営に努める。



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

